

さいたま緑のトラスト協会 0号地・緑のサポート隊、第10回定例会議事録

令和5(2023)年8月16日 <出席者 7人>

一 今後の日程など

- ① 10月22日 さいたま市みどりの祭典—一次回9月6日に応援協力スタッフの名簿、関係者駐車場利用台数の確認<8月16日現在参加スタッフ、木本、宮腰、須鎌、鈴木、(未定—加藤、大野)、車両— >
- ② 9月17日 刈払機安全衛生教育、 23日 8号地でトンボ観察会、 28日 ボランティアスタッフ連絡会議、 10月7日 2号地自然観察会、 21日 いなげやの保全活動(1, 2, 13号地一斉)、 29日 山崎山トラスト祭り(5号地)、 11月14日 県庁オープンデー(クラフト教室)、 15日 リース or スワッグ教室

一 さいたま市みどりの祭典に関して

- ① 出展物と担当人数==ガリガリトンボ2人、木ごま2人、メモホルダー2人、バタパタなど2人、バランストンボ(見学対応含む)2人、入会案内(寄付受付含む)2人、号地やトラスト運動紹介(クイズコーナー含む)3人、計15人が目安。ただし、1号地、7号地からの参加を含め、最終人数に合わせて出展物などを調整する。1、7号地からの参加者には担当を事前に知らせることが必要。
- ② 参加人数を確保する上でも弁当は支給すべき。0号地メンバーには0号地の予算で対応するが1号地、7号地からの応援メンバーには事務局対応をお願いする。

一 県庁オープンデーに関して、今年度は従来通りで実施するが、各号地が一同に会して日頃の活動やクラフトをアピールし、さらに号地間の交流を図る良い機会にできないだろうか。県庁に0から14号地に至るトラスト小路ができることで、埼玉県独自の、誇るべきトラスト運動をアピールすることにもなり、県民(県庁職員)の理解を深めることが期待できる。

一 クリスマスリース or スワッグ教室、正月飾り竹細工教室への応募者減少対策として、チラシを配布することで、従来の会員向け重視から一般応募者重視にシフトしていく。みどりの祭典や県庁オープンデーでは制作した実物をチラシと合わせて展示し、告知効果を上げる努力をする。事務局には県や市の広報誌を含め可能な施策の検討、実施をお願いする。

上記とは別に、リース教室の日程11月15日が妥当かどうかとも検討の余地あり。

以上 9月6日配布

さいたま緑のトラスト協会

0号地・緑のサポート隊、第11回定例会議事

令和5（2023）年9月6日 <出席者 人>

- 一 事務局から

- 一 10月22日（日）のさいたま市みどりの祭典、参加および担当（暫定）メンバー確認。

- 一 出展物ごとの材料状況確認。どんぐりはじめ木の実などの採取日程候補をいくつか決める。

- 一 クリスマスリース教室、竹細工・正月飾り教室の募集チラシ案など具体的には？

- 一 本日の作業
 - * 出展物など準備内容確認と必要作業のチェック

- ※ お知らせ
 - * 柿山理菜（かきやまりな）さん 18歳、LIWEI（リウエイ）さん 18歳のお二人が新規に入会されました。お二人とも0、4、8、14号地の登録です。

- ※ 次回定例会 = 9月20日

以上